

# 旧車に負けない美しさの カギはバランスにある。

往年の名車、ハイドラグライドをイメージして制作された  
ツインカムソフトテイルのNATTY。  
旧車に勝るとも劣らないまとまりの秘訣は  
細かい作り込みによる絶妙なバランスにあった。  
text/R.Murohushi 室伏梨華 photo/S.Sawada 澤田聖司



セレクトッド カスタムモーターサイクル / ナッティ

## Selected Custom Motorcycle

NATTY

### Softail Custom Point



フレームに合わせたパーツ配置



フェンダー位置へのこだわり。



カスタムの背景にハイドラグライドという車両があるが、オリジナルのパーツポジションにとられ過ぎないことがポイント。ソフトテイルフレームという枠を基準に、バランスの取れた位置関係を追求している

ソフトテイルフレームにそのままフェンダーを取り付けようとする、タイヤから浮き上がり、かなり後ろにスレしてしまう。そこでフェンダーストラットを加工し、

スウィングアームにフェンダーをマウント。さらにフレームと干渉する部分に溝を作ることで、タイヤに沿った理想のポジションにフェンダーを取めている



**フレームに合わせた配置で  
絶妙なバランスは実現する。**  
新しいエンジンや新しいフレームが誕生する度、当時の現行車両に乗るオーナーたちは、旧きよきスタイルに憧れ『旧車カスタム』に精を出した。昔から探求されてきたカスタムだが、たとえ全く同じレプリカを作ることではできたとしても、それを越える車両はなかなか生まれえない。なぜオリジナルを越えることができないのか。その疑問に答えを出してくれたのが、セレクトッドが生み出したナッティだ。ナッティはハイドラグライドをイメージし、ファットボイスをベースに作製。フレームのフェンダーストラットを加工し車高を2インチローダ



エンジン周りはヴィンテージのギラつきと対比的に、質感を落としてアンティークのような雰囲気。1.2.ロッカーカバーとプライマリーカバーはEMDの鋳物に交換。3.タンクやエアクリナーもツヤを抑えることで、全体として統一感のある仕上がり

ウンしているが、ほぼノーマルの状態だといってもいいだろう。そこにレプリカパーツを取り付け旧車風のイメージに近づけているのだが、セレクトッドが目指したのは旧車を再現することではなく、旧きよきスタイルを取り入れた、新しいツインカムソフトテイルを生み出すこと。

そのためパーツはソフトテイルフレームに合うよう細い加工が施され、'ハイドラグライド'ではなく'ナッティ'としてバランスの取れた場所に配置された。リジッドにはリジッドのバランスがあるように、ソフトテイルにはソフトテイルのバランスがある。そのことを理解した上で旧きよきスタイルを取り入れることに成功したナッティは、旧車に勝るとも劣らない、クラシックスタイルのツインカムソフトテイルとして最高にバランスの取れた1台といえる。ラクジュアリーなチョップパー作製を得意とするセレクトッドが初めて挑戦した旧車カスタム。この車両を完成させた今、次なる車両の登場が楽しみだ。



4.メーターダッシュをレプリカに交換し、ガソリンメーターをタンクキャップと同じもので封印。現行のソフトテイルタンクをキャッツアイ風のタンクにカスタム。5.6.7.パディの雰囲気を残したソロシート、スタックの効いたサドルバッグ、ヒンジ付きのスカートフェンダー。旧車を象徴するこれらのアイテムは、すべてレプリカを使用。しかしそのままではナッティのバランスは生まれない。バッグとシートは一度バラして小ぶりにリサイズ。フェンダーはタイヤから浮かないように組み込んだ

8.9.スタンドやブレーキペダルなど、一見目立たないような細かいパーツにもテーマに沿った装飾を施すことで、全体の統一感がアップ。10.ヘッドライトはケースとリムでツヤあり・なしの質感を使い分け。陰影が洗練された印象に

The latest  
Customs of  
**SOFTAIL JPN**

問い合わせ / セレクトッド カスタム  
モーターサイクル  
TEL03-6424-8265  
www.selected.co.jp



セレクトッド 東京店  
鈴木飛雄さん  
セレクトッドのカスタムが注目を集めるきっかけとなった車両「ROYAL CLOWNS」のオーナー兼ビルダー。ナッティのデザインも鈴木さんが担当した



小柄な女性オーナーのために制作された車両だが、180センチ以上ある男性でも違和感なく乗車できる。見た目だけでなくライディング時のポジションにも、優れたバランス感覚が発揮されている

